

だいにぎ議会だより



SL奥久慈清流ライン号（上小川駅）

- 第4回定例会で審議された議案…………… (2)
- 文教厚生委員会学校等視察、請願…………… (3)
- 一般質問（6人が登壇し、町政を問う）…………… (4)～(9)
- SLお出迎え、人事、あとかぎ…………… (10)

No.
172
平成25年
1月15日

全議案原案可決

平成24年
第4回定例会

正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ88億2133万7千円となりました。歳入歳出予算のほか、債務負担行為の設定5件と地方債の変更1件がありました。その他、国民健康保険事業特別会計2076万5千円の増額、介護保険特

一般会計補正予算（第6号）の主な歳出は、別表のとおりです。補

別会計642万円の増額がありました。

一般会計

5632万9千円の増額

平成24年第4回定例会が、12月5日から13日までの9日間の会期で開かれました。条例の改正、指定管理者の指定、平成24年度一般会計・特別会計補正予算、人事案件など町長から提出された議案10件及び議員提出議案3件を審議し、原案どおり可決されました。また、常任委員会審査報告と閉会中の継続審査の申し出がありました。

一般質問には6人の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

一般会計補正予算の主なもの

歳 出	補 正 額
農業緊急整備事業負担金	900万円
用水路等災害復旧工事費	709万5千円
町道改良路線測量及び設計委託料	514万8千円
コンビニ公金収納処理導入業務委託料	440万円
本庁舎ボイラ室機器類撤去工事費	314万1千円
交通安全施設工事費	301万4千円
大子中学校・黒沢中学校統合関連経費	297万2千円

提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第70号	大子町水道事業布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事及び布設工事監督者の資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例	原案可決
議案第71号	大子町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第72号	観光SLシャトルバスの取得について	原案可決
議案第73号	町道路線の認定について	原案可決
議案第74号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第75号	大子町営宿泊施設やみぞの指定管理者の指定について	原案可決
議案第76号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第77号	平成24年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第78号	平成24年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第79号	平成24年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議員提出議案第2号	大子町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案第3号	大子町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
審査報告第2号	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願（請願第3号）	原案可決
議員提出議案第4号	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	原案可決
請願第2号	「東海第2原発を再稼働しないことを求める意見書」採択に関する請願	継続審査
請願第4号	東海第二原子力発電所の再稼働中止を求める請願	継続審査

第3回臨時会

平成24年11月21日に第3回臨時議会が開催されました。

◆審議された議案

◎大子町コミュニティFM放送施設整備工事請負契約の締結について

・契約の金額 1億7115万円

・契約業者 日本アンテナ(株) 水戸営業所

原案可決

◎平成24年度大子町一般会計補正予算(第5号)

・基幹業務システム再構築業務委託料 245万4千円

・衆議院議員総選挙費 1680万6千円

原案可決

文教厚生委員会 学校等視察

町内小・中学校及び大子幼稚園の視察を行いました。

主な施設の整備は、概ね実施されている状況でした。

しかし、整備の遅れた事案として、小中学校施設の耐震補強工事、震災による地盤沈下の改修、袋田小学校及び生瀬中学校のプール撤去、トイレの水洗化、インターネットの整備、消防設備の整備等が挙げられます。



▲学校長から説明を受ける委員

す。これらについては大きな財源がかかりますが、優先順位を考慮し、5年後、

更には10年後先をしっかりと見据えた対応が必要です。町の将来を担う子どもたちのため、教育環境の充実を図ることは豊かな心と健康やかな体を育む教育につながり大変重要であります。
(委員長 藤田 稔)

県主催 町村議長研修

研修先の神戸市の「人と防災未来センター」は、防災、減災の世界的拠点とすることを目的に創設された機関です。阪神淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かすことを通じて災害文化の形成、地域防災の向上、防災政策の開発支援を図り、安心、安全な市民協働、減災社会の実現に貢献することを使命とし、「減災社会の実現」と「いのちの大切さ」、「共に生きることの素晴らしさ」を世界へ、そして未来へと発信する施設です。施設には、資料提供者の体験談と展示のコーナー、阪神淡路大震災の地震・破壊のすさまじさを大型映像と音響で紹介

ようこそ 大子町へ

10月26日、群馬県東吾妻町議会の文教厚生委員会が、子育て支援事業の研修のため来町し、福祉課・学校教育課の担当者が大子町の子育て支援の概要説明を行いました。東吾妻町は、人口約1万6千人の群馬県北西部にある町で、出産祝金(3人目から)や入学祝金の支給などの子育て支援を行っています。

また、11月6日には山形県新庄市議会総務文教常任委員会が「廃校を利用した体験交流について」の研修のため、おやき学校を視察しました。新庄市は、小中学校4校を統合し、小中児童生徒が同一の校舎で学校生活を送る「施設一体型小中一貫教育校」の開校を計画しています。

あなたから出された請願は

請願名	請願者	付託委員会	結果
B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願	日立市日高町1-27-3 B型・C型肝炎救済茨城の会 代表 川井玲子ほか11名	文教厚生委員会	採 択
「東海第2原発を再稼働しないことを求める意見書」採択に関する請願	大子町大字池田2364-5 大子女性のつどい実行委員長 新日本婦人の会大子班代表 益子絹枝	総務委員会	継続審査
東海第二原子力発電所の再稼働中止を求める請願	大子町大字矢田76-2 放射能汚染から子どもたちの未来を守る会 代表 神長富子ほか537名	総務委員会	継続審査

※採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁に意見書を提出しました。

3月定例会開催予定

- ▽6日(水) 開 会
- ▽7日(木) 10日(日)
- ▽11日(月) 一般質問
- ▽12日(火) 一般質問
- ▽13日(水) 一般質問
- ▽14日(木) 逐条審議
- ▽15日(金) 逐条審議

大子町議会 広報委員会

- 委員長 齋藤 忠一
- 副委員長 金澤 眞人
- 委員 大森 勝夫
- 委員 藤田 友晴
- 委員 藤田 友晴
- 委員 吉成 好信
- 委員 野内 健一

行政改革はどこまで進捗したか

答 おおむね順調に進んでいる



野内健一 議員

問 第4次大子町行政改革大綱実施計画の進捗状況について報告があったが、町職員の削減数は目標値以上に進んでいる。このまま進むと最終年度の平成27年には大幅に下回った人員での達成になるか。

答 町長 今後においては、職員数の維持と削減、双方のバランスを取りながら推進していく。

問 現時点において、職員数の削減が目標以上に進んでいることにより、町民への行政サービスに支障は出ているか。

答 町長

現時点での職員数は、行政サービスをしていく上でぎりぎりの状況であるが、支障は出ていない。

問 昨年の東日本大震災や社会情勢等を踏まえて、職員数の削減数における目標値は適正と考えるか。

答 町長

毎年、見直しを実施しながら、新規事業の政策や事務量を考慮して適正な人員を確保する。

問 現在、事務事業の整理・合理化はどの程度まで進んでいるか。

答 町長

平成21年度に設置された大子町事務事業の見直しに関する懇談会の提言に沿って推進され、11団体に達成、12団体で継続協議、1団体は現状維持である。

問 民間委託の推進についてはどうか。

答 町長

幼稚園長の嘱託化については、教育職の退職者で対応。給食センター調理部門については、平成24年度より嘱託化を実施。平成25年度からは、衛生センター浄化槽の収集清掃業務を民間に委託する予定。

問 今年4月より実施の窓口の延長業務について、町民の反応はどうか。

答 町長

利用された方からは便利になったという話は聞いたが、詳細については今後アンケートを実施して、その評価としたい。

問 高齢化社会の真ただ中、行政連絡班長に対する地域のコミュニケーション支援は今後どうするか。

答 町長

具体的な支援策については、関係機関、区長会、社会福祉協議会、町福祉課と協議し、その対応を検討していく。



▲役場全景

子どもたちへの体内被ばく検査の考えは

問 町は、昨年の福島原発の事故により、人体に影響を及ぼす放射能の体内被ばくの検査について、どう考えているか。

答 町長

東京電力原子力事故によ

り被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律に基づき、国及び茨城県から統一的基準が示されれば実施したい。

衆院選重要争点の町長の考えは

答 TPP交渉参加は基本的に反対



佐藤正弘 議員

も狭く大規模農地を有する諸外国との太刀打ちは困難、農林水産の衰退や食糧自給率の低下、食の安全が危険にさらされ、規制緩和と関税の撤廃はあらゆる分野に影響を及ぼす。このTPP交渉への参加は。

答 町長

問 消費税の増税が実施されると消費購買力が低下し、税収が減り経済が停滞する。中小零細業者は販売価格に転嫁できず、転嫁すれば商品が売れない。利益が上がらなければ商売をやめざるを得ないなどますます厳しい状況になると思うが。

答 町長

日本の財政状況は大変厳しい状況になっており、今後、社会保障費が年々増加することが想定され、財源を確保することは大変重要なことと考えるので、消費税の増税はやむを得ない。日本の農業は耕地面積

なエネルギー確保がすぐに来ない状況であり、原発の問題を含めて、国のエネ

町長選挙の公約の進捗状況は

問 2年前の町長選挙時、6の柱に17の個別公約を掲げている。その一番目に企業の支援、魅力ある企業の誘致とあるがどのような進捗しているのか。

答 町長

町民を雇用する場合の助成、固定資産税の5年間の課税免除などの企業支援策を設けて取り組んでいるが、新たな企業誘致は大変厳しい状況にある。

問 県内一の高齢化の町で高齡化社会のモデルと位置付け、乗合タクシーの導入、低所得者支援、高齢者福祉支援などを公約しているがその成果は。

答 町長

乗合タクシーについては、地域公共交通会議を設置し、現在まで2回の会議を実施した。事業計画等の合意形成を図り、できるだけ早急に委託業者を決定し

ルギー政策の基本方向に注視し、今後の在り方について慎重に見極める。

運行を開始したい。

高齢者世帯などには緊急警報装置、火災警報器の設置を支援している。

問 観光関連で、空き店舗を活用した山車の展示場の設置などが公約として出さ

れているがあきらめたのか。また、八溝山の観光振興は。

答 町長

確かに公約の中で空き店舗を活用したと表現しているが、政策を進めていく上で考えを変えたいところがある。あきらめたというわけではない。粛々と進める。

八溝山については、道路の整備といったものを考えている。



▲多額の建設費と維持費がかかる山車の展示場

SL定期運行への取組みは

答 丁Rへ要望済、沿線の協力が必要



大森勝夫 議員

る市町で「水郡線SL運行
実現協議会」といった組織
を設立し、継続運行への運
動ができないだろうか。名
古屋市では市長による「名

古屋を鉄道の聖地に」の掛
け声でSL運行を具体化さ
せた。首長の強いリーダー
シップが必要ではないのか。
答 町長
水郡線沿線すべての市町
を含めたSL運行促進が大
切であり、大子町以外の沿
線の協力が必要と考えてい
る。

高規格道路の 実現へ向けて の考えは

問 大子町は高規格道路網
から外れている。県議会の
特別調査委員会は震災復興
を考えた中で、常陸那珂港
から大子町を経由し、福島
方面へつながる高規格道路
を提唱している。そうした
動きに合わせて、地元から
要望の声をあげていく必要
があるのではないかと。

答 町長

高規格道路が県北山間地
域に実現すれば町の活性化
につながる。地元の県議会
議員も提案しているので、
意見の交換や協議を進め、
県との連携をとっていく。

問 高規格道路想定ルート
の市町で連携をとり、要望
書を国へ提出する等の働き
かけができないか。

答 町長

現在、県の北部幹線道路
建設推進協議会で、町の国
道118号や国道461号
の改良工事などを要望して
いる。町内の付随道路整備

問 3日間のSL運行は多
くの観光客を呼び、集客力
の高さを実証した。山々に
響き渡る汽笛の音が、大子
町にSLが走るこの魅力
を人々に伝えた。再度SL
を走らせて欲しいとの要望
が多い。町の取組みは。
答 町長
水郡線沿線6市町の意向
調査では、大子町を含む5
市町が継続実施を望んでい
る。水郡線利用促進会議で
年1回以上の継続運行の要
望をJR水戸支社とJR本
社へ提出した。



▲豪快に煙を吐きながら水郡線を走るSL

茨城国体へ地 元選手輩出の 取組みは

を進めるといふ基本スタン
スでいきたい。

問 茨城国体が2019年
に予定され、スポーツによ
る活性化が期待される。町
の担当種目は決定したのか。

答 町長

平成23年の関東ブロック
大会で実施した実績から、
カヌー競技の要望が町に來
ている。諸般の条件を踏ま
えて平成24年度中に結論を
出したい。

問 現在の小学5年生が高
校3年生の時に国体が開催
される。町出身の国体選手
の輩出を目指し、選手育成
の計画ができないか。

答 町長

県がジュニア選手育成強
化プログラムを作成し実施
する。町でも強化プログラ
ムへの参加支援と、町内の
スポーツ競技団体への支援
を行いたい。

地域防災計画の進捗状況は

答 原子力災害対策編を加えて示す



藤田 稔 議員

専門の設備や人材を整えた避難所はあるのか。

答 町長

社会福祉法人清河会「サングリーンピア太子ケアセンター」と協議中である。

問 太子町地域防災計画、原子力災害対策編策定の進捗状況はどうか。

答 町長

年度内には地域防災計画を示したい。更に、原子力災害対策編を加えた実行性のある対策を掲げる。

問 町内小・中学校の施設整備が遅れた案件の早・中長期的な対応の考えは。

答 教育長

生瀬中の地盤沈下は24年度中に改修する。袋田小、生瀬中のプール撤去は1500〜3000万円かかり長期的対応となる。トイレ

の水洗化は、災害非常時も考えながら対応したい。インターネットの整備は、25年度にネットワークの予算要求をする。その際、だいが・袋田・上小川小は光ファイバー回線に切り替え、残りの学校についても回線が整備され次第対応する。消

防設備は25年度で予算要求をする。

問 放課後子ども教室の毎日開催に向けての課題は。

答 教育長

地域資源を

活かした観光振興の考えは

問 来年運行予定の観光SLシャトルバスについては、地域資源をいかした周遊コースの策定や平日運行は考えているか。

答 町長

モデルコースを提案し、貸切バスとして平日も運行できるか検討する。

問 大洗町や他市町村との観光連携の考えは。

答 町長

大洗町民との交流事業を進め観光情報を共有したい。また、八溝山周辺自立圏構想に参加し、1市6町

を進めていきたい。

問 小・中・高校生など若い世代の知恵やアイデアを募集し、その声を反映した施策は必要ではないか。

答 町長

アイデアを募集する方法や機会を考えたい。

学校教育環境の充実を



▲導入予定のSLシャトルバス（イメージ）

職員削減により行政に支障は

答今のところサービス低下はない



齋藤忠一 議員

将来、職員を増やさざるを得ないのではないかと考えている。

問 来年度より、衛生センターの業務の一部を民間委託するとされるが、進め方と職員や設備の対応は。

答 町長

25年度から、浄化槽清掃、浄化槽汚泥収集運送業務の民間委託に向け、業者選定、入札契約を速やかに行いたい。

答 環境課長

正職員はそのままの体制で、一部嘱託職員を民間委託業者雇用へ。車両は無償での貸与又は貸し出しを考えている。

問 平成22年度から24年度の3年間で、職員が22名の減になったが、その反面、嘱託職員、臨時職員が増え、合わせると全体では13名の増となっている。目標重視の削減は、行政サービスに支障がでるのではないか。

答 町長

今のところ、サービスの低下には至っていないが、

通学路の安全対策は

進んでいるのか

問 今もなお、子どもたちが交通事故の危険な状況にさらされている。今年の第

2回定例会の一般質問で安全対策について質問をしたが、その後の進捗状況は。

答 教育長

特に早急な対応策が必要な箇所については、大子警察署、大子工務所、建設課、学校教育課、各小中学校に

より合同点検を3回行い、改善できる所から対応している。今後も継続して安全確保に努力する。

問 子どもたちの通学路



▲業務の一部が民間委託される衛生センター

に、水郡線の踏切を通るという所がある。特に愛宕町の踏切については危険なので、早急に対応を。

答 町長

愛宕町の踏切についての要望は今までも行ってきたが、今後も引き続き踏切拡張を要望していきたい。

生瀬富士ハイキングコースの整備促進を

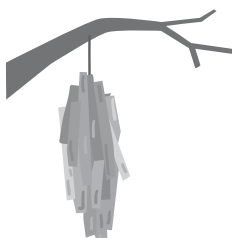
問 大子町には様々なハイキングコースがあるが、地元にも愛され、中学校による登山清掃なども行われている生瀬富士ハイキングコースの整備促進を。

答 町長

生瀬富士は、一般の旅行者には危険な所もあるが、登山者には大変人気の高い山である。コース設定や整備などを検証したうえで、整備促進を検討していきたい。

その他の質問

- 町の活性化について
- 鳥獣害対策について



映画のオープンセット移築を

答 県の真意を確かめて対応する



岡田敏克 議員

問 県は平成21年に水戸藩開藩400年目を記念して、地域発案型による「桜田門外ノ変」を映画化した。主人公の関鉄之介は、実際に1年間袋田の地に身を隠しており、大子町とは切っても切れない歴史的関係がある。この映画で使われた



▲映画で使用されたオープンセット

教育委員会で

正式に議論すべきでは

問 教育委員会の役目とは。
答 教育長

教育委員会は自治体に置かれる教育行政機関。教育は、中立公正、子どもたちの健全な成長発達のために一貫した方針で安定的に行わなければならない。一番大切にしなければならないのは、子どもたちの教育に全力でかかわること。また、生涯学習全般にもかかわっていかなければならないと考えている。

11月までのいじめ調査の結果では、小学校で9件、中学校で5件の計14件。学校と共同歩調で未然防止及び早期発見・早期解消に努めている。

問 9月に質問した時と全く同じ対応である。教育委員会は正式に議論したのか。毎月の議題、議事録を見ると議題として取り上げられていないようだが、どのように協議したのか。
答 教育長

9月に質問した時と全く同じ対応である。教育委員会は正式に議論したのか。毎月の議題、議事録を見ると議題として取り上げられていないようだが、どのように協議したのか。

問 教育委員会の現在のいじめ、不登校問題での対応は。
答 教育長

交通弱者の切り捨てでは

問 平成24年4月から新しいダイヤ改正により路線バスが運行されているが、商店勤務者、病院通院者などの町民の足を奪い、交通弱者切り捨てと思われる結果となっている。この問題を担当責任者の判断で決定し

たのではないか。課として協議・共有すべきである。
答 町長

課内で十分に協議した結果だと認識しているが、課内で問題を共有して進めていきたい。

その他の質問

○光ケーブルの整備について

○文化福祉会館自主事業運営委員会について

○大子町民発想地域づくり助成事業について

議会運営委員会 ・ 広報委員会 研修視察 研究会

10月15日・16日に埼玉県嵐山町議会（議会改革の取組み）及び群馬県吉岡町議会（広報紙の編集）を訪問して研修を実施しました。

嵐山町議会は、「議会活性化特別委員会」を設置し、町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指して約2年間、議会活性化に向けた方策の検討を重ね、議会基本条例の制定、議会報告会の開催などの取



▲嵐山町議会

組みを行っていません。条例制定までの過程とその後の変化、現在の議会運営状況など嵐山町議員から直接、お話を伺うことができました。

また、吉岡町議会は、昨年、町村議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞しており、通算で13回も受賞しています。それでも、広報紙づくりへの情熱と向上心をもって受賞した議会への視察を毎年実施しているそうです。研修には広報委員全員が出席され、編集会議は発行毎に4回開催していることなど、一人一人から貴重なお話やアドバイスをいただきました。



▲吉岡町議会

SLをお出迎え

11月30日、12月1日・2日の3日間、水郡線で14年振りに蒸気機関車（SL）が運行されました。

大子町議会では、SLに乗車して大子町を訪れた観光客を歓迎しようと、3日間にわたり常陸大子駅午後2時17分着で降り立った乗客一人一人に、大子産のお米（JA茨城みどり提供）やお茶を手渡しながらお出迎えをしました。

今回のSL運行は、東日本大震災や原発事故による風評被害の影響により観光客数が落ち込んでいる県北地域の誘客促進と水郡線の活性化を図ることを目指して運行されました。



▲SL乗客を歓迎する町議会議員

大子町森林・林業・林産業活性化促進議員連盟活動

昨年11月28日に林活議員連盟の事業の一環として、宮の郷工業団地内にある県森林組合連合会の木材流通センターと八溝多賀木材乾燥協同組合の木材乾燥施設を視察しました。

広い敷地の中に長さ、太さで自動的に原木を仕分けする機械や蒸気式の高温と中温乾燥機7基を備えた乾燥施設など、乾燥材へと木材需要が変化している時代



▲宮の郷木材流通センター（常陸大宮市）

に合わせた施設が整備されていきました。今後、この施設が県北地区の林業の活性化に寄与されることを望みます。

（委員長 金澤真人）

固定資産 評価審査委員に 坪文男氏

大子町固定資産評価審査委員会委員の益子一雄氏が任期満了により退任するため、後任として坪文男氏（池田）を選任することに同意しました。
任期は平成24年12月26日から3年です。

今回の表紙

14年振りに運行された蒸気機関車。
煙と蒸気を吐き出し、遠くまで響き渡る汽笛を鳴らして出発です。

（藤田健議員 撮影）



あとがき

箱根駅伝のゴールは感無量だった。総合優勝の日本大は、前年19位。タスキが途切れた屈辱から、前例のない3年生を主将に据える荒治療を敢行し、一時はチーム崩壊の危機すらあったという。
強風が吹き荒れた往路で1位になっても、総合優勝など考えるな、自分の走りに徹しろと選手を戒めた監督の鋭い洞察力が全選手的能力を引き出し覇者となった。

過疎化が進む町にも景気低迷の風が吹いている。森林資源の活用、町のイメージ向上による交流人口の増加やネットによる広範囲な販売戦略など、独自の走法を見つけ出す洞察力が必要だ。

（広報委員 大森勝夫）